

JR

Autumn
2024
Vol. 9

一人に寄り添い、こころから支える医療

Report

JR Tokyo general hospital
Seasonal Magazine

皇居の日比谷環

Medical Topics

血圧計と不整脈のはなし

JR東京総合病院 循環器内科 医長 松田 淳



自宅で、職場で、病院で。血圧を測ってみたときにエラーが出たことはないでしょうか。測り直す前にもう一度、よく画面を見てみてください。見慣れない、不規則脈波(IHB)という表示や、ハートが震えているようなマークが出ていませんか？ 実はこれらは「不整脈があるかもしれませんよ」というサインなんです。

その中でも、頻度も高く、放置できないのが心房細動です。心臓の動きが不規則に、ぎこちなくなって、心臓の寿命を縮めてしまいます。こうした心臓では血の塊(血栓)もできやすく、これが重篤な脳梗塞の原因になることもあります。発作性心房細動といって急に現れて急に消えてしまう場合もあり、この場合はなかなか見つけることができません。毎年健康診断を受診していても心房細動があると分かったのは脳梗塞になったとき、ということもしばしばです。心房細動に事前に気づくことができれば、脳梗塞の起こしやすさにあわせて予防薬(抗凝固薬)を内服することができます。

毎日血圧を測ることが早期発見の近道の一つですが、血圧計を持っていないければ自分で脈を測ってみるのも有効です。不整脈があることに気づいたら、ぜひ一度かかりつけの先生や循環器内科の医師に相談してみてください。近年では、一部のスマートウォッチや携帯型心電計など、自分で直接心電図を記録できる機器も登場しています。いきなり心臓の内科に行くのは少し怖いな、という方はこちらを試してみるのもいいかもしれません。

心臓と脳。元気で長生きするために欠かせない2つの臓器を守るために、小さなことから始めてみませんか。

この部分



自分で不整脈をチェックするのにもさまざまな方法があります。脈をとるときには人差し指から薬指まで、3本並べて手首に当てて測るのがコツです。



カテーテル治療の様子

不整脈を直接治療する選択肢(カテーテルアブレーション)も存在します。日本では年間約8万人の患者さまが心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けています。この方法は応用が効きやすく、患者さま一人ひとりの心臓にあわせて治療を行うことが可能です。

当院におけるカテーテルアブレーションの実績

2023年度 81件



循環器内科チーム



JR東京総合病院

検索

JR東京総合病院広報委員会

※提供元記載のないイラストは、著作権者等の許可を得て使用しております。



JR東京総合病院
JR TOKYO GENERAL HOSPITAL

放射線治療

放射線治療は、手術療法、薬物療法とともに、がん治療の3本柱の1つであり、がん治療の一翼を担っています。放射線治療は、治癒を目的とした根治照射、手術の身体的負担を軽減させるための前処置としての術前照射、さらには、症状を緩和して患者さまの生活の質を回復・維持させる緩和照射まで多岐にわたります。



放射線治療部門の取り組み

『がん治療と就労の両立』を支援するため、乳がんと前立腺がんの通常治療を対象に、朝8時より治療を行っています。予約制ではありますが、介護や働きながら通院されている方も多くおられますので、急な予定など予約時間の変更などにも柔軟に対応しています。



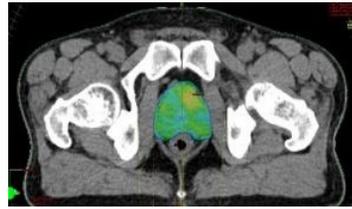
高精度放射線治療の提供について

2016年6月 放射線治療装置「TrueBeam」の導入により、高精度放射線治療（VMAT、定位放射線治療）が可能となり、新しい選択肢としてご提供できるようになりました。より正確に病巣へ照射できるため、副作用軽減も期待できます。また、各スタッフの専従化により、医師・看護師・診療放射線技師・医学物理士・受付が専門チームとして、これまで以上に患者さまに寄り添った治療を提供しています。



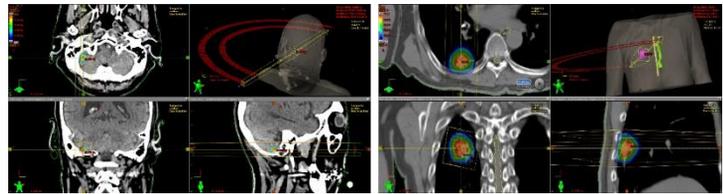
VMATとは・・・

IMRT（強度変調放射線治療）の発展型で、治療装置を回転させながら放射線を照射する方法です。これまでのIMRTよりも、非常に精密な治療が可能でありながら短時間（1-2分）で治療が行えます。主に脳腫瘍、頭頸部がん、前立腺がん用に用いられることが多いですが、従来の照射方法と比較して、医学的にVMATの有用性が高いと判断される場合、その他の領域のがんにおいても用いています。



定位放射線治療とは・・・

定位放射線治療は、いわゆるピンポイント照射といわれる治療法で、主に脳腫瘍や早期肺がんで使用されます。非常に小さな脳腫瘍に集中して放射線をあてる方法では、非常に高い線量率のFFF（Flattening Filter Free）ビームを使用し、短時間（5-10分）での治療が可能です。また、肺など体幹部の小さな病巣では、体動や呼吸による臓器の動きを加味し、より副作用の少ない治療を行っています。



去勢抵抗性前立腺がんの骨転移治療（ゾーフィゴ®治療）

ホルモン療法により男性ホルモンの分泌が抑えられている状態にもかかわらず増悪する去勢抵抗性前立腺がんの骨転移に対し、ゾーフィゴの注射を用いた放射線治療が選択肢となります。外来通院で治療可能で、月1回、最大6回の注射を行います。適用にはいくつかの条件がございますので、希望される患者さまは当院 泌尿器科を受診し、ご相談ください。